

OCU (Osaka City University) 指標とは

本学での4年間の学修を通して、皆さんがどのように多様な学修成果を身につけたかが卒業時に問われます。OCU指標は、これら多様な学修成果をどの程度身につけたかを視覚的にわかりやすい形で示す総合化指標です。

OCU指標は、各授業科目で身につく内容を複数の学修成果に分解して数値化され、累積されていきます。学生の皆さんは、OCU指標を利用することで、各学年の途中で現在の学修状況と自分が希望するキャリアのために身につけるべき学修成果を見比べて、今からどのような能力を身につけるべきかを考え、その足りない部分を補うためにどのような授業科目を履修すれば良いのか知ることができます。

科目ナンバーとの関連

それぞれの授業科目を修得することで身につける事が出来る学修成果の配分は、科目ナンバーごとに決められています。

学修成果の種類

OCU指標における学修成果は次の6つです。学修成果A~Eは全学共通、学修成果Fは経済学部独自の項目です。

学修成果	内容
A：論理的思考	修得した専門知識を、論理的な思考と柔軟な発想によって応用することができる
B：情報活用	多様な情報を収集・分析し、それらを日々の生活のなかで活用することができる
C：外国言語・文化	外国の言語と文化を学習・修得し、世界のさまざまな国・地域の人びとと意思疎通することができる
D：表現	分析の結果を、言語や記号を用いてわかりやすく表現することができる
E：社会貢献	グローバルな社会の一員であり、かつ地域社会の一員であることの自覚をもち、自らの知識・技能を活かして、(他者と協調して)社会の発展のために寄与することができる
F：複眼的構想力 (経済学部独自項目)	学修成果A~Eを活用し、多様な見方を総合して、問題解決の新しい方途を複眼的に構想することができる

OCU指標の計算例

各科目のOCU指標は、科目ナンバーごとに定められた各学修成果の配分と成績評価(グレードポイント:GP)によって決まります。あらかじめ定められた学修成果の配分にしがってGPが配分され、各学修成果のOCU指標となります。

<科目ナンバーごとの学修成果配分例>

学修成果	
科目: α	A B C D E F
科目: β	A B C D E F

科目 α の学修成果配分 A : B : C : D : E : F = 3 : 2 : 2 : 1 : 1 : 3
科目 β の学修成果配分 A : B : C : D : E : F = 3 : 1 : 1 : 1 : 1 : 5

<成績の差により身についた学修成果のイメージと OCU 指標算出方法の例>

	学 修 成 果					
科目 α : AA	A	B	C	D	E	F

(GP 4 = AA の場合 : 成果配分の比率に従って 4/4 倍で累積される)

	学 修 成 果					
科目 β : B	A	B	C	D	E	F

(GP 2 = B の場合 : 成果配分の比率に従って 2/4 倍で累積される)

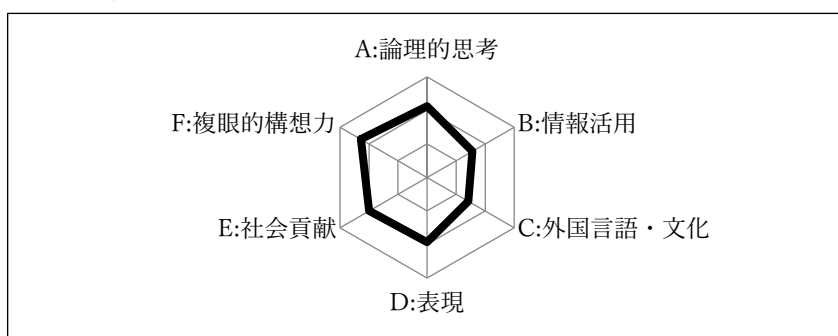
科目 α で身についた学修成果 A の OCU 指標 $3 / (3 + 2 + 2 + 1 + 1 + 3) \times 4 = 1.0$
 科目 β で身についた学修成果 A の OCU 指標 $3 / (3 + 1 + 1 + 1 + 1 + 5) \times 2 = 0.5$

レーダーチャートについて

学生の皆さんそれぞれの OCU 指標は、半期ごとにレーダーチャートで示されます。各学修成果の OCU 指標は、それまでに単位を修得した科目の学修成果の累計になります。

形については綺麗な六角形が理想ではなく、学部(学位プログラム)(または自身の希望するキャリア)によって様々です。自身のレーダーチャートは学修支援推進室にて常時確認することが出来ます。

OCU 指標レーダーチャートのイメージ



OCU 指標の成果配分

科目分野	科目 No.	A 論理的思考	B 情報活用	C 外国言語・文化	D 表現	E 社会貢献	F 複眼的構想力
入門科目 (PR)	EAPRJ~	4	2	1	2	1	2
基礎科目 I (B1)	EAB1J~	3	3	1	2	1	2
基礎科目 II (B2)	EAB2J~	2	2	1	3	2	2
日本語で提供される応用科目 (APJ)	EAAPJ~	2	2	1	3	2	2
英語で提供される応用科目 (APE)	EAAPE~	1	2	3	2	2	2
応用科目のうちの上級講義 (APJ5)	EAAPJ5~	2	2	1	2	2	3
演習科目 (EX)	EAEXJ~	2	2	1	2	1	4